



## 南葵音楽文庫ミニレクチャー

### 徳川頼貞と明治のオーケストラ～東京音楽学校演奏会を中心に

林淑姫

2018年5月5日(土) 11:00

南葵音楽文庫閲覧室(和歌山県立図書館内)

南葵音楽文庫

和歌山県立図書館内

和歌山市西高松 1-7-38

tel. 073-436-9500



アウグスト・ユンケル  
August Junker (1868-1944)



東京音楽学校管弦楽団  
指揮者ユンケル(東京音  
楽学校奏楽堂 1906年頃)



旧東京音楽学校奏楽堂  
1987年に台東区上野公園  
に移築完成。重要文化財。

◎は『蒼庭楽話』で語られてい  
るコンサート

#### 演奏会年表(抄)

1887(明治20)年2月

音楽取調掛卒業演奏会

ベートーヴェン「交響曲第1番」抜粋  
ソーヴレ指揮

1893(明治26)年7月

東京音楽学校卒業式

ハイドン「交響曲第45番<告别>」  
ディットリヒ指揮

1898(明治31)1月

明治音楽会第1回演奏会

イヴァノヴィチ「ドナウ川のさざなみ」

1899(明治32)3月

明治音楽会

ハイドン「交響曲第94番<驚愕>」抜粋  
ハウス指揮

1900(明治33)5月

東京音楽学校(東音)

第4回定期演奏会

シューベルト「交響曲第7番<未完成>」  
ユンケル指揮

1902(明治35)11月

東音第7回定期演奏会

メンデルスゾーン「オラトリオ<聖パウロ>」  
より 三浦環独唱、ユンケル指揮

1904(明治37)6月

東音第10回定期演奏会

ビゼー「組曲<アルルの女>」 ユンケル指揮

1905(明治38)3月

東音第12回定期演奏会

メンデルスゾーン「ピアノ協奏曲」  
ケーベル独奏、ユンケル指揮

1905年(明治38)8月

日比谷公園音楽堂奏楽(吹奏楽)

ヴァーグナー「タンホイザー」序曲

陸軍軍楽隊 永井建子指揮

ジョーンズ「ゲイシャ」抜粋

海軍軍楽隊 吉本光蔵指揮

\*1912年7月より管弦楽演奏(海軍軍楽隊  
瀬戸口藤吉指揮)

1906(明治39)5月

東音第14回定期演奏会

ルビンシテイン「ピアノ協奏曲」

シモネッティ「牧歌(マドリガル)」

ケーベル独奏 ユンケル指揮

1909(明治42)11月 ◎

東音第21回定期演奏会

ベートーヴェン「交響曲第3番<英雄>」第1  
楽章 ユンケル指揮

1910(明治43)11月

東音第23回定期演奏会

ブラームス「ドイツ・レクイエム」抜粋  
ユンケル指揮

1911(明治44)5月 ◎

東音第24回定期演奏会

ヘンデル「コンチェルト・グロッツ Op.6-6」

シモネッティ「マドリガル」

ロイテル/ハーブシコード、ユンケル指揮

1912(明治45)6月

東音第26回定期演奏会

サンサーンス「チェロ協奏曲第1番」

ヴェルクマイスター独奏、ユンケル指揮

1912(明治45)12月

ユンケル氏送別演奏会

グリーク「ピアノ協奏曲」

ペッツォルド独奏、ユンケル指揮



**ソーヴェレ(ソーヴレット) Guillaume Sauvret 1943.7.29 ミデルブルグ(オランダ)~?**

1885(明治18)年、マスコット歌劇団とともに来日。横浜でピアノ・リサイタルを開き、横浜合唱協会を指導。1886年、音楽取調掛(のち東京音楽学校)教師に就任。1887年、伊澤修二を中心として発足した西洋音楽推進団体「日本音楽会」の幹事を務め、演奏にも参加。作品に「日本ワルツ」「明治行進曲」などがある。1889年秋離日。

**ディットリヒ Rudolf Dittrich 1867.4.15 ピアラ(オーストリア)~1919.1.16 ウィーン**

ウィーン音楽院卒。ヴァイオリンをヘルメスベルガーに、オルガン、作曲をブルックナーに学ぶ。1888年、東京音楽学校の招聘により来日。厳格な授業で知られた。学外の演奏会にも積極的に出演。日本音楽の研究にも熱心で、ピアノ曲集 *Nippon Gakufu*(全2集)を刊行している。1894年離日。帰国後、ウィーン音楽院教授を務めた。

**ハウス Edward Howard House 1836.9.5 ボストン~1901.12.17 東京**

ボストン、ニューヨークで音楽、演劇担当の記者として活躍。1871(明治4)年来日、大学南校の英語教師を務め、不平等条約改正のための論陣をはる。1893(明治26)年再来日。宮内省雅楽部で西洋音楽の指導にあたった。

**ユンケル August Junker 1868.1.27 シュトルベルク(ドイツ)~1944.1.15 東京**

ケルン音楽院卒。ヴァイオリンをヨアヒムに師事。ベルリン・フィルをはじめ、ドイツの各都市及びシカゴで演奏活動を展開。1899(明治32)年来日。翌年、東京音楽学校の教師に就任、管弦楽の育成に努めた。1913(大正2)年帰国。1934年再来日。武蔵野音楽学校で教鞭を執る一方、松竹交響管弦楽団の指導にあたった。

**吉本光蔵(よしもと・みつぞう) 1863.11.16(文久3.10.6) 江戸~1907.6.11 東京**

1878(明治11)年、海軍軍楽隊に入隊。エッケルトの指導を受ける。1899年ベルリンに留学。1902年帰国、海軍軍楽長に就任。1905年に開始された日比谷公園奏楽に海軍軍楽隊を率いて指揮。作品に「君が代行進曲」がある

**永井建子(ながい・けんし) 1865.9.8(慶応1.9.8) 広島~1940.3.13 広島**

1878(明治11)年、陸軍軍楽隊に入隊。ルルーの指導を受ける。1903年音楽研修のため渡仏。翌年帰国、陸軍戸山学校軍楽隊長に就任。1905年に開始された日比谷公園奏楽に初回より陸軍軍楽隊を率いて指揮。1915(大正4)年退任。「元寇」「雪の進軍」をはじめとする軍歌のほか、管弦楽曲、歌劇なども作曲。

**瀬戸口藤吉(せとぐち・とうきち) 1868.6.29(慶応4.5.10) 鹿児島~1941.11.8 東京**

1882(明治15)年、海軍軍楽隊に入隊。エッケルト、ユンケルの指導を受ける。1904年、海軍軍楽長に就任。1917(大正6)年退任。退任後は東京帝大のオーケストラなどを指導。「軍艦マーチ」「愛国行進曲」の作曲者。

**明治音楽会**

1898(明治31)年、東京音楽学校教授上原六四郎を中心として設立された音楽団体。演奏会開催、音楽の研究、教授などを活動の主旨とした。宮内省雅楽部、東京音楽学校の演奏家を主体とした演奏会を定期的開催。

**日比谷の公園奏楽**

1905(明治38)年に完成した東京・日比谷公園の野外音楽堂で定期的開催された音楽会。陸・海軍軍楽隊の演奏によるもので、当初は吹奏楽、のち管弦楽も加わった。「崇高な音楽を以て市民終日の労を慰める」(尾崎行雄市長)と謳われたこの公園奏楽は音楽愛好家たちの集いの場でもあった。